

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表 (地域公共交通調査等事業)

令和3年2月26日

関東運輸局

評価対象事業名： 地域公共交通調査事業(計画策定事業)

協議会名	①事業の結果概要	協議会における事業評価結果		地方運輸局等における 二次評価結果	備考
		②事業 実施の 適切性	③計画策定等に向けた方針 又は事業の今後の改善点	評価結果	
匝瑳市地域公共交通活性化協議会	<p>1 公共交通に関する現況把握 地域特性、既存公共交通の現況、上位・関連計画におけるまちづくりの方向性を整理した。</p> <p>2 市民及び利用者の意向把握アンケート調査 市民アンケート調査(15歳以上の市民を対象とした2,000人無作為抽出)、市内循環バス利用者アンケート調査、地区別意見交換会(3地区)、交通事業者へのヒアリング調査(5事業者)、関係団体アンケート調査(3団体)、主要施設利用者アンケート調査(3施設)を実施し、利用意向や将来の方向性等について把握した。</p> <p>3 匝瑳市地域公共交通計画(案)の取りまとめ 調査等を踏まえ、地域にとって望ましい公共交通網のあり方についての基本方針をまとめ、その基本方針に沿って、持続可能な公共交通網の形成に向けた目標、事業の実施主体、スケジュール等を具体的に反映させた計画を取りまとめる。</p> <p>4 協議会開催 計画策定に向けた調査内容や、調査結果を受けて今後の交通体系のあり方について議論するための協議会を開催した。 (令和2年度末までに計5回開催予定)</p>	<p>・計画に位置付けられたとおり、適切に実施される見込み。</p>	<p>【補助対象事業名】 地域公共交通調査事業(計画策定事業)</p> <p>【事業内容】 地域公共交通計画策定に係る各種データ収集・分析等</p> <p>【実施時期】 令和2年度末策定予定</p> <p>【方針】 ・現在策定中ではあるが、調査の結果以下の7点を本市の課題と位置付ける予定</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 高齢者・障がい者及び生徒など交通弱者への対応 2 市内循環バスの見直し・改善 3 公共交通と福祉交通施策との役割分担の明確化 4 観光客や来訪者への対応 5 広域アクセスに配慮し公共交通機関同士の乗り継ぎ利便性の改善 6 市民・来訪者に分かりやすい運行情報の提供や利用促進に向けた市民意識の醸成 7 多様な主体の連携による持続可能性の確保 <p>・これらの課題に対し、</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 広域アクセスやまちづくりとの連携を図った利便性の高い公共交通網の構築を目指す 2 各公共交通機関同士の相互連携や、誰もが利用しやすい環境整備による利便性向上を目指す 3 多様な主体との連携によるまちづくりと一体となった持続可能な公共交通を目指す <p>を基本方針とし、各種目標及びそれに基づく施策を展開していく。</p>	<p>事業が計画通り適切に実施される見込みである点について評価出来る。 公共交通網の在り方について、特定のバス路線や地域の検討だけでなく、地域全体の方向性が示されている点を評価する。市内循環バスの再編について、鉄道、路線バスとの乗り継ぎの利便性など、他の路線との連携などにも考慮されている。デマンド交通を導入する際はメリット、デメリットを考慮し、丁寧に検討されることを期待する。今後、計画を運用して行くに当たって、計画を策定して終わりではなく、PDCAを回すためにも地域住民の声を吸い上げて分析を行う事が重要であるため、その点に留意して実施していただきたい。 また、地域公共交通利便増進実施計画についても作成することを目的とせず、本計画を有効的に実施するためにも丁寧に検討されることを期待する。</p>	